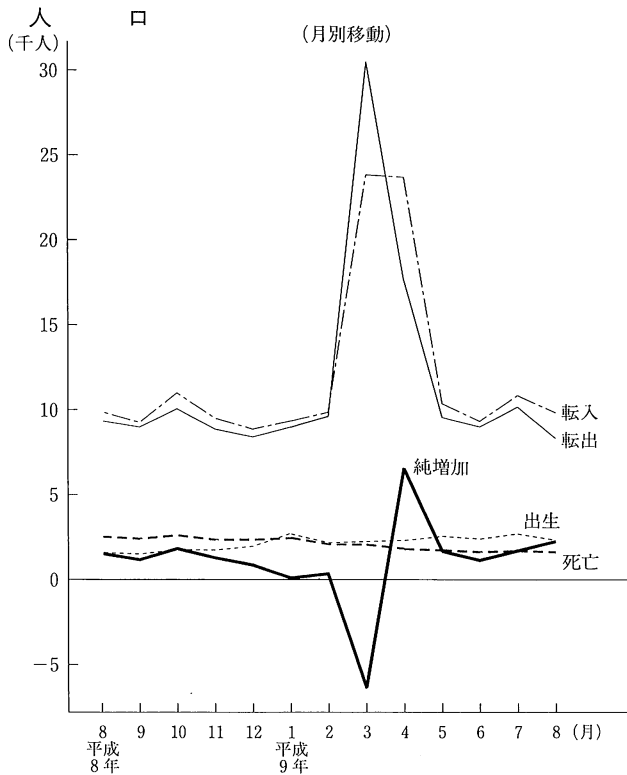
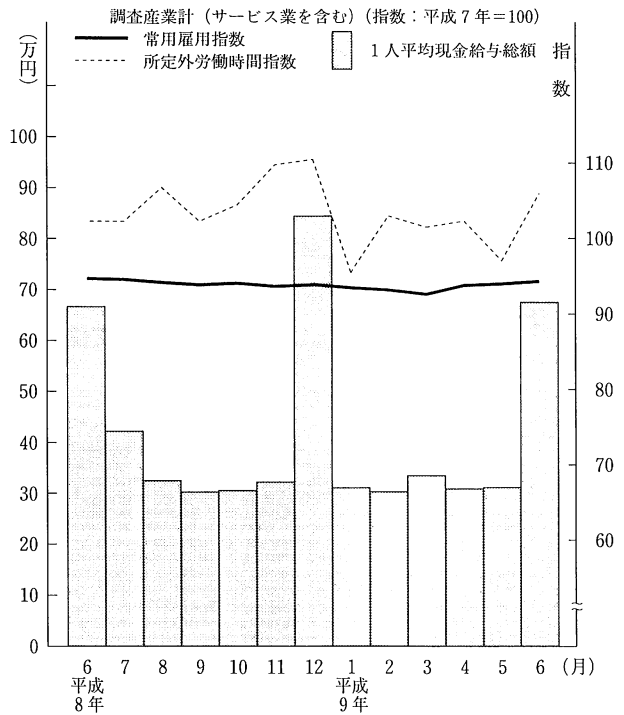


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■ 人口 (9年9月1日)

8月の概況

本県の人口は、8月中に2,263人増加し、9月1日現在で2,980,221人(男1,488,757人、女1,491,464人)となった。

内訳は、自然動態で、734人(出生2,354人、死亡1,620人)増加し、社会動態で1,529人(転入9,841人、転出8,312人)増加した。前年同月と比べると12,605人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が17市39町村、減少が3市21町村、増減なしが5町村である。世帯数についても8月中に1,225世帯増加し954,496世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9年6月)

1. 平均時間の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で675,306円、対前年同月比1.5%増、このうち、きまって支給する給与は306,962円、対前年同月比1.5%増であった。また、このうち、所定内給与は279,026円、対前年同月比1.7%増であり、超過労働給与は27,936円、対前年同月比0.1%減であった。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で166.6時間、対前年同月比0.6%減であった。このうち、所定内労働時間は、152.5時間、対前年同月比0.9%減、所定外労働時間は、14.1時間、対前年同月比3.6%増であった。

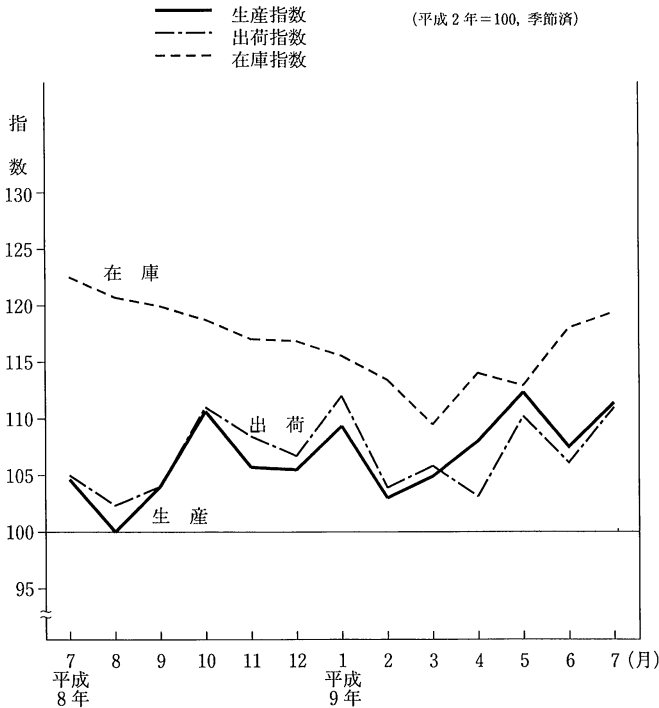
3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

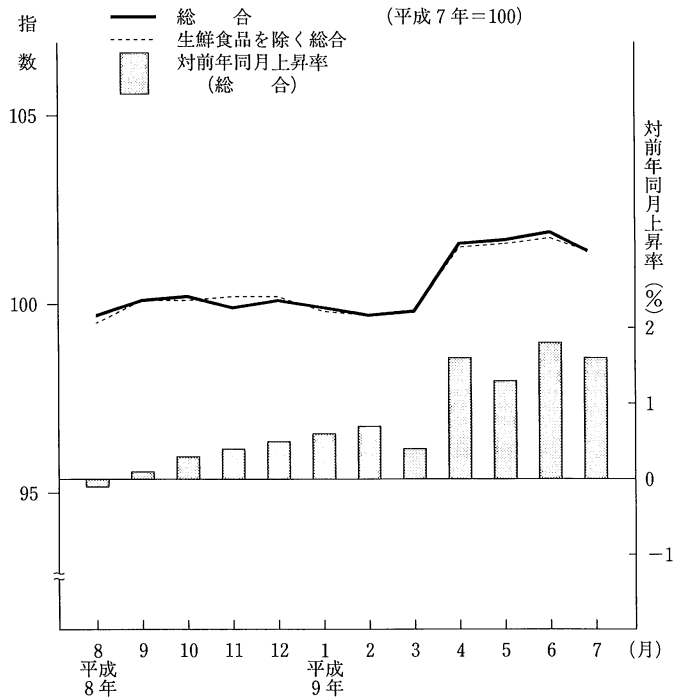


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年7月）

本県における平成9年7月の“鉱工業指数”（平成2年＝100）は、季節調整済指数で、生産が111.0、出荷が111.4、在庫が119.4で、前月比は、生産が4.7%の上昇、出荷が3.6%の上昇、在庫が1.2%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が6.2%の上昇、出荷が6.1%の上昇、在庫が2.5%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、精密機械工業、一般機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業、その他工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、精密機械工業、金属製品工業等が上昇し、その他工業、化学工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、食料品・たばこ工業、その他工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、金属製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。出荷では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財が低下した。在庫では、非耐久消費財、資本財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（9年7月）

平成9年7月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.4（平成7年＝100）となり、前月比0.5%の下落、前年同月比1.6%の上昇となった。

今月の上がった主な項目………上下水道料1.7%、乳卵類1.5%、飲料1.4%

今月の下がった主な項目………果物5.1%、シャツ・セーター・下着5.1%、衣料4.0%

生鮮食品を除く総合は101.4となり、前月比0.3%の下落、前年同月比1.7%の上昇であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.4	△0.5	1.6	保健医療	101.9	0.0	0.1
食 料	101.7	△1.0	1.9	交通通信	99.2	△0.1	0.1
住 居	102.4	0.1	0.9	教 育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	105.1	0.7	5.8	教養娯楽	98.2	△0.1	0.7
家具・家事用品	97.2	△0.2	△0.2	諸 雑 費	100.6	△0.3	0.5
被服及び履物	102.8	△3.3	4.6	生鮮食品を除く総合	101.4	△0.3	1.7